

並木市長に改革の意思なし！

宮川 豊史  
(久留米ハートネット)



【質問】 私はこれまで、並木市長の改革の意思は感じるが、その具体策がないと批判してきたが、今では改革の理念すら疑問に感じる。夢と元気だけでは何も変わらない。もっと現実を見つめ、なぜ改革をしなければいけないのか、市長自らの言葉で語るべき。それができないのであればリーダーとして不適合。大きな改革を成し遂げるためには、どんな小さな事業であってもなくせるものはない。それを市長自らが率先してできるかどうかは東久留米市の改革がかかっている。

市長交際費廃止の考えは。  
【答弁】 適正な執行に努めながら、今後必要な見直しを行う。

【質問】 市長車廃止の考えは。

【答弁】 専用車両での運行を業務委託により実施している。

【質問】 市長表彰式典廃止の考えは。  
【答弁】 表彰の目的に沿って適正に行う。

新たな市民負担ごみ有料化反対

桜木 善生  
(社民党)



【質問】 家庭ごみ有料化について、①野崎元市長は、景気の悪化による家計への影響を考慮し見送っている。景気は決して良くなっているとは思わないが、市長は実施するのか、②収集形態の変更により、民間委託労働者の労働加重が懸念されるが、見解は。

市長 ①計画では、市民アンケート等を踏まえて手数料の設定、低所得者等に対する減免措置も講じている。有料化は10年来の懸案課題であり、過去の経緯も踏まえ判断をした。

【質問】 重度障害者の訪問入浴サービスの実施を求めるが、見解は。

【答弁】 現状では、さいわい福祉センターでの入浴サービス事業で対応している。事業全体での再構築も考慮し、他の状況等も調査・研究していく。

将来に向けた、市の魅力づくりを

篠宮 正明  
(自民クラブ)



【質問】 市の魅力向上には、観光振興分析調査報告書を受けての観光施策と農業振興計画などの連携が必要と考えるが、取り組みは。

【答弁】 報告書の観光振興の方向性で示した「農とのつながり」、計画の重点事業で示した「体験型農園の推進」および「農にふれあう場づくり」、いずれも市内外からの来訪者を対象としており、観光に関わる魅力の展開を考えている。地域産業推進協議会においても、報告書をもとに議論を行う予定である。

【質問】 都市計画道路東3・4・19号線周辺の安全対策について、①神明通り交差点の信号機の設置、②南沢通りの信号機に右折矢印信号の設置は可能か。

【答弁】 ①道路幅員が満たされず、設置が見送られた経緯がある。引き続き設置を要望していく。②右折車両数などの調査が必要と考えており、調査結果を踏まえ田無警察署へ要望したい。

魅力あるまちづくり

島崎 清一  
(自民クラブ)



【質問】 2月の花の展覧会で市内花農家が最高位の農林水産大臣賞を受賞された。市内花農家の受賞は3年連続であり、大変名誉なことである。このような実績を農業振興にどのように生かしていくのか、取り組みについて伺う。

【答弁】 受賞については市の広報やSNSで広く周知に努めたところである。また、高い技術力をもった生産者が身近にいることについて市民への周知を図るとともに、直売所等の最新の情報を提供する等、花を染しめる環境づくりに取り組んでいく。

【質問】 防災対策について、避難所に防災井戸を設置すべきと考えるが、見解を伺う。

【答弁】 大変有効な対策であると認識している。市が想定する避難生活者およそ1万4500人の3日分の飲み水は備えているが、災害時の生活用水のさらなる充実を図り検討してまいりたい。

一般質問



本会議の進行を務める細谷祥子議長

地域で支えあうまちづくりを

沢田 孝康  
(公明党)



【質問】 国が推進する認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)では、「認知症サポーターを量的に養成するだけでなく、さまざまな場面で活躍してもらうことに重点を置く」となっている。サポーターの養成が必要と考えるが、本市の現状は。

【答弁】 認知症サポーターの養成講座を受講した方に対して、各地域包括支援センターからフォロー講座の参加を呼び掛けている。

【質問】 学童保育の待機児童解消策と放課後子供教室について、現状と今後の取り組みについて伺う。

【答弁】 学童保育の待機児童は、本年4月1日現在108人である。既に定員に達した8カ所で、定員の弾力化を実施、低学年で残り2カ所待機児童がいる。放課後子供教室は、現在3校で実施、29、30年度に各3校、31年度に4校に拡大の方向で調整している。

避難所ごとの運営連絡会づくりを

野島 武夫  
(自民クラブ)



【質問】 災害に強いまちづくりに向けて、避難所運営連絡会を組織していただくことが必要であると思つたが、現状と今後の取り組みについて伺う。

【答弁】 今年度、第六小学校を避難所とする自治会と避難所の管理者および行政が一堂に会する連絡会を行った。小山小学校でも準備を進めており、今後連絡会の開催に取り組みしていきたい。

【質問】 商店街活性化について、商店街振興のための補助金の活用を積極的にPRし、市にぎわいづくりを強力に進めてほしいと思つたが、市長に伺う。

市長 商店街は人が集うコミュニティの場所としての役割を期待できるため、夢と希望の持てる元気なまちづくりにとって重要な課題の一つと認識している。各種制度のPRを図り、積極的に取り組みを進めていきたい。

就学援助の充実を！

永田 雅子  
(日本共産党)



【質問】 しんかわ保育園が民間化による廃園対象になっているが、熊本地震の発生などもあり、地盤沈下について調査することを求める。

【答弁】 老朽化の程度が高いことから民間化対象園とした。開園後40年を経過しているが、地盤の不同沈下による躯体への影響はないと考えており、地盤調査の予定はない。

【質問】 子どもの貧困率は16・3%と過去最悪であり、子育て世帯の暮らしの厳しさはわが市も例外でない。就学援助については、①入学準備金の事前支給、②中学校修学旅行費用を親が立て替えることなく就学援助で対応すること、③体育実技用具費と卒業アルバム費を対象とする3点の拡充を求める。

【答弁】 いずれも実施する考えはない。

【質問】 他団体できていることである。【答弁】 調査・研究していく。

「開通道路×神明通り」信号機急げ！

三浦 猛  
(公明党)



【質問】 東久留米駅西口と小井井街道を一本でつなぐ道路が開通したが、神明通り交差点では事故が発生している。一刻も早く神明通りに対する信号機と歩行者横断信号機が設置されることを強く望むが、見直しについて伺う。

【答弁】 旧市役所側の道路が、信号機設置の条件による道幅が満たされないため、設置が見送られた経緯がある。車両同士による事故も発生している状況もあるため、引き続き信号機の設置を要望していく。

【質問】 信号機が設置されるまでの安全対策も必要である。視界をさえぎる街路樹の移設や、大きめのミラーの設置も考えられるが、いかがか。

【答弁】 路面標示や注意喚起の看板を既に設置している。道路反射鏡なども、東京都の許可等を取りながら設置していく。市民の方々の安全を第一と考え、一層の安全対策を進めていきたい。

実践的な災害時避難者対策を

梶井 琢太  
(市議会民進党)



【質問】 災害時避難者対応で、①避難所ごとに施設管理者、市職員から成る初期活動班、自主防災組織や自治会など地域住民の三者で構成する連絡会設置の進捗状況は、②避難行動要支援者対応として名簿作成の進捗と活用方法は。

【答弁】 ①今年度から第六小、小山小で進行中。今後も全避難所で構築していく。②名簿作成は終了、喫緊の課題として関係部署と対応を協議する。

【質問】 ①避難所運営に即したマニュアルの策定は、②保育所や介護施設等、二次避難所のマニュアル策定は、③要支援者個別の避難計画策定と、現行計画の見直しは、④避難訓練で判明した施設等の改善は。

【答弁】 ①各避難所での作成を考えている。②今後の協議の中で対応を考えた。③個別支援でできるよう努力し、現行計画も修正したい。④避難経路上の危険箇所等を把握し、対応を図りたい。

公共施設の更新はできるのか？

佐藤 一郎  
(市議会民進党)



【質問】 旧大道幼稚園跡地に建設予定の新児童館の基本設計には、集会所の記載があるがどのように活用するのか。

【答弁】 児童館に「コミュニティ機能」として地域に開かれた児童館という趣旨から、児童館本来の機能に支障がない範囲で、集会所の一部を間仕切り等して市民利用として活用できないか検討してきた経緯もある。今後については、詳細設計に向けて運用を踏まえた検討を重ねる必要があると考える。

【質問】 公共施設のあり方に関する基本方針が出され、参考資料では建物の総量を減らして財源不足を補う場合、床面積約13・9%を削減する必要があるとなつているが、担当部の考えは。

【答弁】 維持運営コストの削減や計画的な基金の積み立て、施設等の貸し付けや売却など施設更新に備えた財源の確保策等、さまざまな方策を講じ対応していく必要があると考える。